

観光客の消費単価と域内調達比率の調査方法（案）

○消費単価調査について（既存調査への追加）

調査手法：例年、淡路島観光協会では実施している DMO 満足度調査に消費単価に関する質問を追加し調査を実施（年 1 回、2 月上旬に実施）

（参考）

DMO 満足度調査

調査手法：インターネットによる web 調査

調査対象：「過去 1 年以内に淡路島に観光に行った人」

20-79 歳 男女

スクリーニング 30,000 サンプル・本調査 400 サンプル

（関西圏 200、それ以外 200 サンプル想定）

*性・年代 均等割り付けではない。

追加質問案

前回の旅行において淡路島内で消費された金額を教えてください。

（税込・一人あたり）

	金額は自由記述式（単位：円）
宿泊費	
飲食費	
土産物代	
入場・体験代	
交通費（島内利用分）	
その他、島内で消費した費用	

○域内調達率調査について（新規調査）

調査対象施設：観光協会会員の宿泊施設（企業単位ではなく施設単位）

客室数 20 部屋以上（定員規模で 100 名程度以上）

島内で営業している

宿泊者の大多数が 1 泊 2 食付きを基本としている施設。

調査対象施設の考え方：

- ・ 1 泊朝付のホテル&市内レストランでの夕食というパターンは、淡路島における

観光需要では少数派と考えられるので、調査対象は旅館タイプを基本と想定。

- ・一定規模を有する施設＝島内産消費に与える影響が大きい施設と想定されるため、調査対象施設の下限規模を設定
- ・昼食においては「観光客向け」と考えた場合、その定義による線引きが困難であることから現状は調査対象とはしていない。

調査回数：年1回

調査手法：対象施設に対するアンケート調査

調査質問案

問1：食材について、仕入産地別のおおよその割合（金額ベース）をお知らせください。

A:島内	B:島外	合計（A+B）
%	%	100%

問2：島内産の食材を積極的に利用したいと思いますか？

- ① 今よりさらに積極的に利用したい
- ② 現状ぐらいで丁度良い
- ③ 今より利用を減らしたい
- ④ 島内産は利用したくない

問3：島内産以外の食材を仕入れる理由のうち、該当する項目をすべてお選びください

- ① 価格が高い・取引条件が悪い
- ② 供給量が足りない（手に入らない）
- ③ 品質が悪い
- ④ 欲しいときに手に入らない（安定していない）
- ⑤ その他（ ）

問4：島内産の食材の利用促進のため、必要なことがございましたらご自由にご記入ください。

（ ）